

地域活動支援による国民参加の緑づくり活動推進事業（継続）

【平成21年度予算額 128,257（168,068）千円】

事業のポイント

緑化行事の実施、企業等の森づくり活動への参加を促進するための環境整備等を通じて、国民参加の森林づくりを推進します。

- ・ 森林の整備・保全に当たっては、企業、NPOなど多様な主体による国民参加の森林づくりの推進が重要となっています。
- ・ 森林ボランティア団体は平成19年度に2,224団体となっており、市民等の自発的な森づくり活動が活発化しているとともに、社会的責任活動の一環としての企業による森づくり活動の参加も増加してきています。
- ・ これらの取組を推進し、国民参加の森林づくりを促進するためには、森づくり活動に係るサポート体制の整備や企業の社会貢献ニーズの調査・活用など、多様な主体が参加できる環境整備が必要です。

政策目標

【サポート体制の整備】

企業やNPO等の森林整備・保全活動をサポートする森づくり活動支援組織（森づくりコミッション）を全都道府県に設置（平成21年度末）

<内容>

1. 国民参加の緑づくり推進

全国的な緑化運動を推進するため、全国植樹祭、全国育樹祭などの国土緑化行事の実施や巨樹などの国民に身近な森林・樹木の保全・管理技術の開発と普及を支援します。

2. 多様な主体による森づくり活動のサポート体制の整備

企業、NPOなどの森づくりをサポートする森づくり活動支援組織（森づくりコミッション）の活動を促進するため、活動マニュアルの作成、研修の実施、関係者等の情報のネットワーク化などを支援します。

また、都市住民等による花粉症対策に効果的な森づくり活動等や活動の安全確保対策を支援します。

3. 企業の森づくり活動の促進

企業の森づくり活動を促進するため、企業の社会貢献ニーズ調査、企業の経営者やCSR担当者などを対象とした説明会等の開催を支援します。

<補助率>

定額、1/2

<事業実施主体>

民間団体

<事業実施期間>

平成18年度～22年度（5年間）

[担当課：林野庁研究・保全課]